フェニキア・カルタゴ研究会　第８回公開報告会

The Society for Phoenician and Punic Studies in Japan

お蔭様で公開報告会も今年で８回目を迎えることになりました。前半では、昨年 10 月にイビサ島で開催された第 10 回フェニキア・カルタゴ国際学会の報告に次いで、フェニキア人の本拠地、レバノンの発掘で出土した呪詛板についての研究報告をお話しいただきます。さらに高校の現場から、フェニキア・カルタゴ史についての実践報告を、現職の教員・高校生も参加して小シンポジウムという形で行います。後半では、今年度チュニジアで行われた現地調査の成果を、科研のテーマをもとにご発表いただきます。今回もさまざまな方向性からフェニキア・カルタゴ研究の「今」に迫りたいと思います。
是非、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

プログラム

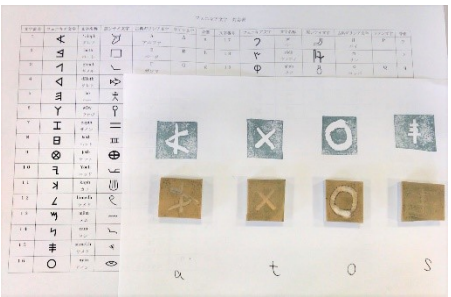
13：15　入室
13：30　開会の辞・趣旨説明　　佐藤　育子
13：35「第 10 回フェニキア・カルタゴ国際学会に参加して」　佐藤　育子（日本女子大学）
13：50「2010 年レバノン南部の都市ティール郊外地下墓 TJ.10 出土呪詛板の研究」
前野　弘志（広島大学）
14：25「小シンポジウム　高校におけるフェニキア・カルタゴ史研究」
丸小野　壮太（常磐大学高等学校）
岩田　和樹・薗部　悠真・小宅　進実（常磐大学高等学校）
15：00　休憩
15：10「ドゥッガとウキ・マイウスに見るローマ市民入植の諸相：2022 年度チュニジア現地調査から」
大清水　裕（滋賀大学）
15：45　質疑応答　　司会　　青木　真兵
16：00　閉会

日時：2023 年 3 月 5 日（日）13:30～16：00
ZOOM によるオンライン開催

EIVISSA 2022
10 th INTERNATIONAL CONGRESS
OF PHOENICIAN AND PUNIC STUDIES

ティール出土の呪詛板
文字部分

フェニキア文字対応表
とスタンプと印影



ドゥッガのカピトリウム

参加をご希望の方は、3 月 3（金）までに下記のフォームからお申込み下さい。3 月４日（土）までに当日のリンク先など参加方法をお知らせします
https://forms.gle/zAw9yKVixTJEa1889

主催　フェニキア・カルタゴ研究会
共催　古代ローマ期北アフリカの農業に関する学際的研究
JSPS 科研費　21H00584　（研究代表者　大清水　裕）